

経済倶楽部便り

◆東京◆ 6月の講師のお一人は毎日新聞デジタル報道グループの田中裕之記者でした。旧統一教会問題はこれまで毎日新聞紙上で連載されてきてはいますが、やや関心が冷めてきた感もあり、ここで改めてお話しして頂くこととしました。講演の視点は教祖の発言から見える歴史ということで、PDFの形式で発掘された615巻に及ぶ教祖の発言集(絶版)をPapagoと言われる自動翻訳ソフトを活用して解析されたとのこと。そこから教祖の思想や教団と日本における政界との関係について様々な興味深い事実を指摘されました。8月号に掲載されます。

6月入会の会員をご紹介します。帝人社長の内川哲茂様、同専務の小川英次様、みずほ銀行日本橋法人第二部長の戸谷英雄様です。

8月の定例講演会は夏季の休会になります。

◆中部◆ 6月の講師に第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生氏が来名。「今、円安のプラス面で海外観光客が大挙して日本に来ている。同様に輸出でも日本酒や牛肉、サイズの大きいホタテとか日本独自のものが伸びている。ニューヨークタイムズの『2023年世界の行くべき都市ランキング』でもロンドンに次いで2位が盛岡だった。日本の身近なものに世界が注目する時代だ」と話されました。

8月の講演会は夏季の休暇に入ります。

(日暮良一)